

科目名 Subject	ビューティービジネス（応用） Beauty Business（Advanced）			教員名	新井 卓二	
開講年次	1・2	開講時期	後期・前期	単位	2単位	
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	60時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
		○	◎	◎		○
科目の概要	ビューティービジネスの定義は幅広く、様々な商品やサービスを提供する企業が存在します。また企業は、小売りのグローバル企業や、日本のEC（インターネット）だけで販売を行っている、卸し等のビジネスを展開している企業もあります。そこで本応用講座では、化粧品等の様々なビューティービジネスを知り、併せてビジネスの基礎も学び、新たなビューティービジネスを考えるだけでなく、学んだことを行動に移す実践力を身につけていきます。 前半では、美容機器メーカー（ヤーマン）や化粧品メーカー（ちふれ化粧品）、食品メーカー（カゴメ）、メディア（インフォママーケッツジャパン）、ビューティービジネスの卸し機能で成長した企業（ビューティーガレージ）等のノウハウやサービスと、多店舗展開、グローバル企業や路面店、また通販、EC特化した企業との掛け合わせによって、ビューティービジネスの多様性や奥深さを学びます。 後半は、まずウィッグで世界No1のアデランスからCSR活動を学びます。その後学んだビジネスの知識を活用し、未来の世界や生活様式を創造し、それに適するであろうビューティービジネスを、学生同士のグループワークで、考え、発表し、評価を貰う、新規事業のプロセスを体験します。 授業の回によっては、様々な知見を得るためにゲストスピーカーの方をお呼びします。 他に、本講座では、経営学の基礎を学ぶため特定非営利活動法人 経営能力開発センターが主催する経営学検定／マネジメント検定初級（実費4950円）の合格を目指し、教科書を課題等で勉強します。					
授業方法	対面授業とします。ただし、企業側のルールまた社会的自粛要請により、対面授業が困難な場合はZOOMで対応致します。					
授業の目標	授業を通し学生が、経営学の基礎を知り、ビューティービジネスを理解し、新たなビジネスを創造する力を培います。これは、ディプロマポリシー3のデータや様々な思考法を用いて課題を分析し、社会状況を勘案した解決策を想定できるに該当します。 そしてこれからの社会は、技術やAI等の進化により、言われたことだけをやる作業系や知識を問う仕事は減っていくでしょう。そこで、新たなことを想像できる人間が価値ある社会人になると予見し、学生は、新しい世界を想像し、恐れずに取り組めることが実践できるようになります。これは、ディプロマポリシー2の社会や自分の状況を把握し、目的に合った目標を達成するために自ら行動することができるに該当します。					
時間外学習 （予習・復習）	ゲストに「ビューティービジネス」を展開している企業をお迎えするので、予習として、企業を事前調査をしてください。また隔週で経営学検定も1章づつ事前に読んでパワーポイント1枚にまとめてください。復習として、学んだビジネスモデルや商品・サービス等の、各授業のポイントを毎回自宅で復習して下さい、（併せて90分）具体的には、毎回の授業内で知識を習得しているかの確認の為に小テストを実施します。また課題レポート提出は、自宅にて作成し、クラスルーム等にUPしてもらいます。その際グーグルスライド等送付の仕方、書き方を復習し、実践してもらいます。					
教科書・教材	教科書	ヘルスケア・イノベーション（玄場公規・新井卓二・小野恭義、同友館、2020年）				
	教材	プリントを適宜配布				
	使用設備・備品	CD、DVD、ビデオ再生				
	参考文献	必要に応じて提示します。				
評価方法	授業参加意欲30%、発表20%、筆記試験50%の比率で評価します。 授業内容の性質上、特に授業態度は重視します。					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	レポートに対して、コメントを返します。					
履修上の注意	私語、居眠り、飲食、携帯電話の使用、授業の妨げ、マナーに反する行為は退出を命ずることがあります。質問や意見をどんどん出して授業に積極的に参加すること。状況によりゲストスピーカーの変更もあります。					
本科目履修と関連する資格	資格名	経営学検定／マネジメント検定初級（特定非営利活動法人 経営能力開発センター）				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第1回	オリエンテーション ビューティービジネスの概要を学ぶ	授業の全体像を理解し、30回の授業の展開を予測し、新しいことを創造する力の必要性も理解できる。	予習として、身近にあるビューティービジネスを調べてくる。(60分)
第2回	ヒット商品分析(ヤーマン)を学ぶ 【ゲストスピーカー：ヤーマンの方】	失敗含め商品の分析とヒットした理由を探る。また今後の方向性も考え予測し述べるができる。	予習として、ゲストスピーカーヤーマンのヒット商品分析の企業を調べてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第3回	ヒット商品(ヤーマン)の振り返りによってビューティービジネスを学ぶ	ターゲット、価格設定、商品戦略等を考える。また将来のマーケットを、ヒット商品を通し予測し述べるができる。	予習として、対象のヒット商品の類似商品を調べてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第4回	ヒットブランド分析(カゴメ)を学ぶ 【ゲストスピーカー：カゴメの方】	失敗を含め小売り業界の分析とヒットした理由を探る。また今後の方向性も考え予測し述べるができる。	予習として、ゲストスピーカーカゴメの食品市場の企業を調べてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第5回	ヒットブランド(カゴメ)の振り返りによってビューティービジネスを学ぶ	ブランド戦略等を考える。また将来の世界を、世界ブランドを通し予測し述べるができる。	予習として、対象のヒットブランドの類似ブランドを調べてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第6回	経営学検定から経営学の基礎を学ぶ①	個人として、経営学検定の教科書の1章を1枚のスライドにまとめることができる。	予習として、経営学検定の教科書をノートにまとめてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第7回	ヒットサービス分析(ゲストスピーカー/インフォーママーケットツジャパン)を学ぶ 【ゲストスピーカー：インフォーママーケットツジャパンの方】	失敗談含め体験価値からみるヒットした理由を探る。また今後の方向性も考え予測し述べるができる。	予習として、ゲストスピーカーインフォーママーケットツジャパンの展示会や雑誌の企業を調べてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第8回	ヒットサービス(インフォーママーケットツジャパン)の振り返りによってビューティービジネスを学ぶ	サービス、体験価値、おもてなし等を考える。また将来の人口を、体験価値を通し予測し述べるができる。	予習として、対象のメディア企業の類似企業を調べてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第9回	まとめと中間テスト(前半8回の振り返り)、フィードバックによりビューティービジネスを学ぶ	商品やブランド、サービスにおけるビューティービジネスの確認。また未来の世界やマーケットを予測し述べるができる。	8回を振り返り試験に向けて自学習する。(60分以上)
第10回	ヒット企業分析①(ちふれ化粧品)を学ぶ 【ゲストスピーカー：ちふれ化粧品の方】	失敗談含めビジネスモデルからみるヒットした理由を探る。また今後の方向性も考え述べるができる。	予習として、ゲストスピーカーちふれ化粧品のヒット企業を調べてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第11回	ヒット企業(ちふれ化粧品)の振り返りによってビューティービジネスを学ぶ	流通、販売場所等を考える。またインターネットの進化を、販売方法から予測し述べるができる。	予習として、対象のヒット企業の類似企業を調べてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第12回	経営学検定から経営学の基礎を学ぶ②	個人として、経営学検定の教科書の1章を1枚のスライドにまとめることができる。	予習として、経営学検定の教科書をノートにまとめてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第13回	ヒット企業分析②(ビューティーガレッジ)を学ぶ 【ゲストスピーカー：ビューティーガレッジの方】	商材のデジタル化により、閉鎖的な業界に変革をもたらし、成長を続けてきた理由、仕入れ業務の変化を知り述べるができる。	予習として、対象のヒット企業を調べてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第14回	ヒット企業(ビューティーガレッジ)の振り返りによってビューティービジネスを学ぶ	卸し事業や個人ビジネス等を考える。また専業ECの未来を、ビジネスモデルから予想し述べるができる。	予習として、ゲストスピーカービューティーガレッジの類似企業を調べてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第15回	まとめと期末テスト(後半6回の振り返り)、フィードバックによりビューティービジネスを学ぶ	ビジネスモデルからビューティービジネスの確認。また未来の世界や企業戦略を考え述べるができる。	6回を振り返り試験に向けて自学習する。(60分以上)

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第16回	ヒット企業分析③（ケンジ）を学ぶ 【ゲストスピーカー：ケンジ代表】	失敗談含め食品からみるヒットした理由を探る。また今後の方向性も考えることができる。	予習として、ゲストスピーカーケンジを調べてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第17回	ヒット企業（ケンジ）の振り返りによりビューティービジネスを学ぶ	健康食品等の食品ビジネスを考える。また業界の未来を、ビジネスモデルから予測することができる。	予習として、対象の企業の類似企業を調べてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第18回	まとめ（前18回の振り返り）と後半のビューティービジネスの創造概要を学ぶ	授業の全体像を理解し、後半13回の授業の展開を予測し、未来を創造する力の必要性を考えることができるようになる。	予習として、18回の振り返り、試験に向けて自主学習する。(60分以上)
第19回	ビューティービジネスを考える①（コロナ後の世界とビューティービジネスの進歩を学ぶ）	グループワークとして、コロナ後の生活様式を想像し、またそれに適したビューティービジネスを予測することができるようになる。	予習として、コロナ後の生活の変化を調べてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第20回	ビューティービジネスを考える②（自分のキャリアを鑑み10～20年後の世界とビューティービジネスの未来を学ぶ）	グループワークとして、10年後の生活様式を想像し、またそれに適したビューティービジネスを予測することができる。	予習として、2030年以降の生活様式想像し調べてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第21回	まとめと中間テスト、未来の世界とビューティービジネスの未来の発表によりビューティービジネスを学ぶ	近い将来から、数10年後の将来を生活様式を想像する。また、将来の適したビューティービジネスの進化も予測することができる。	予習として、前19、20回の振り返り、試験に向けて自主学習する。(60分以上)
第22回	ビューティービジネスを考える③（商品の発想を学ぶ）	グループワークとして、産業の将来を予測し、新しいビューティービジネスの商品を考えることができる。	予習として、今までの事例の商品をノートにまとめてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第23回	ビューティービジネスを考える③（サービスの発想を学ぶ）	グループワークとして、産業の将来を予測し、新しいビューティービジネスのサービスを考えることができる。	予習として、今までの事例のサービスをノートにまとめてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第24回	ビューティービジネスを考える④（リソースについてを学ぶ）	グループワークとして、産業の将来を予測し、新しいビューティービジネスのリソース（経営資源）を考えることができる。	予習として、今までの事例のビジネスモデルをノートにまとめてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第25回	ビューティービジネスを考える⑤（ビジネスモデルの発想を学ぶ）	グループワークとして、産業のし将来を予測し、新しいビューティービジネスのビジネスモデルを考えることができる。	予習として、第20、21、22、23、24回をノートにまとめてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第26回	ビューティービジネスのグループ発表資料の作成を学ぶ	グループワークとして、PCを使ってビジネスプランを作成できる。	予習として、PCスキルや企画を文書をノートにまとめてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第27回	ビューティービジネスのグループ発表とフィードバックによってビューティービジネスを学ぶ	グループワークとして、ビジネスプランが発表できる。フィードバックを貰い、PDCAを回すことができる。	予習として、発表方法のノウハウをノートにまとめてくる。(30分) フィードバックを復習しノートに纏める。(30分)
第28回	経営学検定から経営学の基礎を学ぶ③	個人として、経営学検定の教科書の1章を1枚のスライドにまとめることができる。	予習として、経営学検定の教科書をノートにまとめてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第29回	経営学検定の模試から経営学の基礎を学ぶ④	個人として、経営学検定の教科書の1章を1枚のスライドにまとめることができる。	予習として、経営学検定の教科書をノートにまとめてくる。(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める。(30分)
第30回	まとめと期末テスト（経営学検定）、個人としての掛け合わせ人材とフィードバックからビューティービジネスを学ぶ	個人として、人物／キャリアプランを発表できる。フィードバックを貰い、PDCAを回すことができる	予習として、経営学検定の教科書の復習と、ビューティービジネスの基礎の振り返りと試験に向けて自主学習する。(60分以上)